

特集 I

JA会津いいで (株)湯浅ファームが最優秀賞に輝く 第48回JAグループ福島肉牛共励会(東京会場)開催



▲懇談会で開会をするJAグループ福島肉牛振興協議会沼野 博副会長



▲審査講評で挨拶をする猪股孝二県本部長



▲最優秀賞に輝いた株式会社湯浅ファームの枝肉セリ結果



▲優秀賞に輝いた有限会社武田ファームの枝肉セリ結果

JA全農福島とJAグループ福島肉牛振興協議会は、10月9日(金)に、東京都中央卸売市場において第48回JAグループ福島肉牛共励会を開催しました。共励会前日に行われた「銘柄福島牛懇談会」では、肉牛生産農家をはじめ、JA関係者、買参人、福島県関係者、東京食肉市場関係者が参加し、福島県産の牛肉を使用した料理を味わいながら、今後の販売情勢や産地への要望等について情報交換を行いました。

共励会では、福島県内の肉牛生産者が肥育した黒毛和種の去勢60頭、雌20頭の計80頭が出陳され、JA会津いいでの(株)湯浅ファームの枝肉が最優秀賞の栄冠に輝きました。この枝肉は、霜降りの度合いを示す脂肪交雑が最も高い「12」で、ロース芯面積が11.2cm<sup>2</sup>と群を抜いて大きく、非常に迫力のある枝肉との評価で、4,049円/kgでセリ落とされました。

他に、黒毛和種の雌の最高額で、JA郡山市の(有)武田ファームから出陳された枝肉が優秀賞に選ばれました。共励会全体としては、平均枝肉単価が2,276円/kgで、昨年比で410円/kg高い相場となりました。共励会後の審査講評では、「福島県産牛枝肉は全国でもトップレベルの品質であるが、今回の共励会を機に風評を払拭されることを期待し、今後は枝肉重量も増量できるように産地として取り組んでいただきたい」との評価をいただきました。

福島県産農畜産物の販売には、まだ風評被害が見受けられています。私たちJA全農福島は、風評被害払拭のため、今後とも継続して福島県産農畜産物の安全・安心についてPRし、復興の後押しをしてまいります。

特集 II

今年も安全・安心 あんぽ柿をお届けします 平成27年産あんぽ柿出荷に関する説明会開催



▲県園芸課より、安心・安全の取組に関する説明



▲主催者挨拶を行う あんぽ柿産地振興協会長



▲出荷団体を代表して挨拶を行う JA伊達みらい安彦組合長

11月17日(火)に東京八重洲APホールで「平成27年産あんぽ柿出荷に関する説明会」が開催されました。説明会では昨年度と同様に農林水産省、福島県、各出荷団体、取引市場など約50名を参集しました。県内で出荷自粛を受けている地域の加工再開に向けた取り組みと今後の出荷販売について各関係機関より説明を行いました。

区(安全性を確保出来る地区)からの出荷と、27年度より福島市がモデル地区に加わった事に加え、モデル地区内に限るなどの条件はありませんが、原料柿の移動が再開となり全体の出荷量も増加する見込みとなっております。専用のあんぽ柿非破壊検査機による放射性物質の全量・全袋検査は引き続き実施しており、検査機については26台から33台に増やし今年度の出荷増量に向けた安心・安全へ万全の体制作りを進めてまいります。

生産者が丹精込めて作った安全・安心・美味しい冬の味覚あんぽ柿を出荷してまいります。



▲製品に貼られるシール